

## 野洲市公共施設予約システム導入に関するプロポーザルにおける審査項目

	評価項目	評価の視点	指標	配点	審査基準					備考
					非常に劣る	やや劣る	標準的	優れている	特に優れている	
組織評価	経営状況	経営状況の妥当性	◇決算書 資本金、売上高 等	5 点	0 点	2 点	3 点	4 点	5 点	
	業務執行技術力	当該業務を遂行するために必要な知識・経験	◇納入実績報告書 同種・類似業務の実績 等	10 点	0 点	4 点	6 点	8 点	10 点	
	業務遂行力	業務遂行体制の妥当性	◇企画提案書（3 技術者の体制） 技術者数 等	5 点	0 点	2 点	3 点	4 点	5 点	
	実施体制	適正な業務を提供できる実施体制か	◇企画提案書（4 サポート体制） 担当者数、配置、構成 等	5 点	0 点	2 点	3 点	4 点	5 点	
	支援体制	円滑な運用ができる支援体制か	◇企画提案書（5 運用・保守） 運用支援、保守サポート	5 点	0 点	2 点	3 点	4 点	5 点	
事業費評価	事業費	当該業務（システム導入構築）に係る費用は妥当か 導入後のシステム利用と保守に係る費用は妥当か	◇参考見積書 見積額、見積書の内容 ※当該業務の見積額と5年間の利用・保守料の見積額を合算した費用（総事業費）で評価する。	50 点	総事業費＝当該業務の見積額＋利用・保守料×5年 最低提案額が基準額を上回る場合 （基準額／当該総事業費）×50点 最低提案額が基準額を下回る場合 上記計算式の「基準額」を「最低提案額の総事業費」に読み替える。					利用・保守料は300万円/年以下を想定しており、当該事業の予算額と合わせて総額19,400千円を基準額として採点する。 1点未満の端数は切り捨てる。
提案内容評価	提案内容的確性	提案内容は本市に合ったものか	◇企画提案書（1 提案システム） システムの概要	10 点	0 点	4 点	6 点	8 点	10 点	
	業務実施手続	スケジュールの妥当性	◇企画提案書（2 スケジュール） スケジュール的的確性	10 点	0 点	4 点	6 点	8 点	10 点	
	情報セキュリティ	個人情報等の漏洩対策は万全か	◇企画提案書（6 情報セキュリティ） システムの安全性	10 点	0 点	4 点	6 点	8 点	10 点	
	研修・教育	円滑に導入するために必要な措置が取られているか	◇企画提案書（7 研修・教育） 施設管理者や利用者への研修	10 点	0 点	4 点	6 点	8 点	10 点	
	市民の利便性向上及び職員の事務効率化に向けた提案	利用者の予約手続きの簡素化、職員の事務軽減に繋がるか	◇企画提案書（8 自由提案）	15 点	0 点	6 点	9 点	12 点	15 点	利用者の利便性向上や職員の事務軽減に関する提案や工夫があるか。
	将来拡張性	オンライン決済や電子鍵との連携等が可能か	◇企画提案書（8 自由提案） ◇ヒアリング（拡張性・将来性）	5 点	0 点	2 点	3 点	4 点	5 点	将来的に容易に拡張することが可能か。
	取組姿勢	説明に説得力があり、当該事業に積極的に取組む意欲を感じられるか	◇ヒアリング （説明、業務への意欲、積極性）	10 点	0 点	4 点	6 点	8 点	10 点	
	システムの機能性	機能要件確認表の回答内容に基づき評価	◇機能要件確認表 ◇ヒアリング （運用上の工夫・提案）	50 点	0 点	20 点	30 点	40 点	50 点	要望項目への対応状況が他の提案者と比較して優れているか。 運用における工夫や提案は具体的で効果的か。
合計				200 点						

※最低基準点は満点の6割とします。ただし、個々の委員の採点ではなく、審査員全員の合計点で判断することとします。

※提案者が1者しかない場合でも、最低基準点に満たない場合は選定しません。